

### 第3回 八木中学校区 学校運営協議会 記録

期日	令和7年2月6日	会場	流山市立長崎小学校
----	----------	----	-----------

(天野教頭)

令和6年度第3回流山市立八木中学校区学校運営協議会を始めさせていただきます。  
久保田会長、よろしくお願いします。

(久保田会長)

よろしくお願いいたします。今日の協議の主題についてですが、山口校長が体調不良でお休みということで、本来ならば授業の様子を見て、今年度の教育反省の成果と課題を見ながら山口校長から、話しがある予定だったのですが、残念ながらできなくなってしまいましたので、今日お見えになっている、八木中学校と八木南小学校の資料を元に、それぞれの学校の今年度の教育反省を簡単に話していただき、あとはそれぞれの委員の皆様方に今授業を見ていただいた感想や来年度も見据えたご意見をいただきたいと思います。それでは山本校長先生からよろしくお願いいたします。

(八木南小山本校長)

八木南小学校の山本です。評価ありがとうございました。  
昨年度から今年度にかけて新設校ができ、新設校に通うようになってもいいですという学区を抱えていることで100人ぐらいの児童が異動しました。このことは、一人当たりのパーセントが大きくなるので、影響していることもあります。保護者と職員ではよい数字が表れており、今年度の環境の変化や新しい取り組みが全て駄目だったわけではなかったと思っております。アンケートの1や2についてどれぐらいの割合か改めて見直しましたが、今年度は、ほぼ昨年度から変わりが無く、4や5をつけてくださっている方々がすべての項目で、8割～9割以上であるということが確認できました。

授業参観の時に今年度に行った様々な教育活動をスライドにして見ていただき、他学年の体験活動についてありがたい感想をいただきました。従来ある校外学習だけではなく、長崎小でも算数専科が配置されていますが、本校でも高学年が算数は教科担任ということで、特に6年生は授業が分かりやすくしております。4～6年生は教科担任制を取り入れていて、5、6年生は算数とプラスを担当2人で分け合い、それを学期ごとに入れ替えでやり指導力が高まるように、また、生徒指導的な視点で見ると自分のクラスは分かるけれど、同じ学年でも他のクラスの事はわからないというよりは、小規模校だからこそすべての教員はすべての事が分かるように、子どもたちがどの大人に相談しても大丈夫な相談体制を目指しています。児童は幸いな事にいろいろな話しをしてくれ、職員もよく遊んでくれ教育相談的な面では功を奏しているかと感じております。また、県の方から会計年度職員という形で、図工にたけた方をお呼びして低学年に入ってもらい、1年間けがもなく素晴らしい作品が出来上がり非常に効

果的でした。その他にも、学校の職員だけではまかないきれない所を専門的に子供たちの興味関心や心をくすぐってくれるようなことをやってくれました。

読み語りについては、今年度低学年を中心にボランティアの方や保護者の方をお呼びして本に親しむ、話を聞く、聞く耳をつくるということで子供たちは非常に楽しみにしています。

今年度創立150年の行事がありまして、6年生高学年の委員会の子供たちを中心に保護者の準備委員と共に、子供達のアイデアを何とか形にできないかと考え、多くの事を調べて、実際に子供達が企業に電話して、お金を計算したりしてこれから実生活に必要な事を経験して、プレゼンしてくれました。

アンケートの結果をもとに来年度の計画を練っているところですので、また何かありましたらご協力をお願いいたします。

(久保田会長)

ありがとうございました。続いて八木中学校お願いいたします。

(八木中辻本校長)

八木中学校は今までどおり基本的には、先生方が教え込むというより、寄り添ってあげることが大切です。まず自分達が考える場を設定することが大切です。年度途中に電子黒板が配置されました。本校の研究主題がICT活用で実際に活用率が高かったので一番に入れていただきました。実際に授業が分かりやすいという項目はこの数年で一番いい数字を挙げています。あと今年、力をいれたのが表現していくということで、3年生に関しては受験ですが新入生に関しては興味あることを探究できる、みんなで調べて実際に発表していく活動をやってきました。すごく面白かったことは、相手に伝えるにはどのような資料を作った方がいいのか、表現したらいいのかを発表していて子供たちの個性が出ていてとても面白かった。ただ単に発表するのではなく、相手に自分達の思いが伝わらないと意味がない、どう表現したらいいか考えたところがすごく成果かと思います。来年度以降は、もっと外に発信していてもいいのではないかと考えています。発信することで、様々なことに興味をもっていくことがすごく大切です。多くの経験を設定していくことで人生のきっかけのチャンス、それに感化されるかは個人の問題ですけども、そういうチャンスに気づける人間になることができたらいろんなことが見えてきます。

八木中学校は、あいさつ、歌声、清掃の三本柱になっており、あいさつと礼儀、清掃の数値が低かったことは子供たちにしっかりと意識させ、自分たちが生徒会として目標としていることについての数値が下がっているということで自分達の意識を変えていくこと、委員会活動を含めて発信することに取り組んでいければと思います。そのほかの部分では、よい評価をいただいているかと思いますが、概ねは悪くないかと、ただ意識の部分で前向きに取り組んでいけるといいよねというところですよ。

校則があるのは良くないとネットではたたかれています。八木中の校則、八木中条例という形でやっていますが、この趣旨は、子供たちが生活するうえで自分たちが

生活しやすいことを考えて決定して、決定したことはみんなで守っていこうという趣旨ですので、大人が決めたというより、なくてもいいもの等については子供たちが自主的に提案し生徒総会でおろし、1年をかけてどうしたらいいかということを年度末に提案して修正していくという流れです。文言だけ見ると、ほかの学校より八木中は厳しいイメージがありますが、子供たちに下した段階で子どもたちが生活しやすいと言っていることなので、いいのではないかと考えています。考えるという場を意図的に設定して自治活動を活発にしていくということがすごく大切であるかと思っています。ほかの学校に比べて八木中は厳しいのではという意見がありましたら、学校では子供たちに対して話し合いをもとにそういうものを作っているということです。その辺をアピールしていただければと思います。ぜひともよろしくお願いいたします。

(久保田会長)

ありがとうございました。長崎小の授業と1年間を振り返って何かお話がありましたらお願いいたします。

(米倉委員)

学校が古いという気がします。また、八木南小と比べると長崎小は図書が少ないような気がします。勉強も大切ですが、人を大切にするような人との交わり、人それぞれ違い大変かと思いますが、気持ちを充実させていただくとマナーも良くなるかなと思います。

フィンランドでは自分が失敗した事を発表する日を10月に設定しているらしいです。日本でも鳥取で、失敗したことを発表する日を設けている例があるので、そういう事もいいのかなと思います。

(久保田会長)

ありがとうございます。こういう意見は役所の方に伝わるといいのです。本の数は子供の数に比例して置くことになっていますが、多いに越したことはないので、もっと本があった方が子供たちの心の豊かさが育つということが伝わるといいので、ここで意見をたくさん出していただけたらと思いました。他に意見ありましたらよろしくお願いいたします。

(坂本委員)

授業風景を見たときに、各学年の子供たちがのびのびしている状況が見られました。図書室も整理されていて見やすい図書室だなと思いました。

先ほど山本校長先生から八木南小の150周年のお話がありました。PTAも横の連携があって、垂れ幕の業者さんを紹介することが出来ました。

P T Aバザーの時に地域の方、長崎小保護者、八木南小保護者協力してくれ子供達に還元することができ、保護者の満足度が90%でした。本当に学校と保護者がいつ

も連携をとっていて、PTA だけでなく多くの保護者が貢献している学校で、この評価の数字はとても大切だと学ばせていただきました。

(久保田会長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか？

(小野寺委員)

八木南小の校長先生から、学区の変更によって児童数が 100 人ぐらい減ってしまったというお話がありましたが、児童について、多少動揺があったと思いますので心のケアなどについて様子をお伺いしたいです。

(八木南小山本校長)

学区の変更があったからというわけではありませんが、教育相談としてどの学校にもカウンセラーが配置されていますが、どの大人でも気軽にお話をしてもいいということを、年度当初の学年便りなどで説明しました。また、新たな学級づくりをしていく中で、全職員が八木南小学校の子供たちを育てていくように教育相談の充実を行ってきました。何か相談があった場合には、その職員だけで抱えずに隣の職員や学年主任、最終的に校長に届くようにという経路を職員に伝えました。小さい学校ならではの、ということで自分の学級の子だけではなく全児童の顔と名前が一致するような学校づくりをしながらケアをしてきました。

(小野寺委員)

十分にケアすることは難しいのかもしれないが、学校のやりかたとしてどのようにやっていくのかと心配しながら学区編成についてお話しさせていただきました。

(米倉委員)

補足です。体育館で学区の事について説明受けました。色んな意見がでましたが、最終的には親の判断ということになりました。低学年でマンションの子供たちは市野谷小学校へ行き、特別支援の子供達は慣れたところで八木南小学校に行きました。4 年、5 年、6 年生はほとんど八木南小学校に行っています。何か、という思い出がなくなってしまうところだと思います。マンションの中で、八木南小に行った保護者と市野谷小に行った保護者がそれぞれで固まり二つに分かれています。うまくいったのではないかと考えています。

(八木南小山本校長)

高学年は5年間の繋がりで選択できる地域にいても八木南小を選択しています。1年生、2年生で新しいマンションにお住まいの方はどちらの学校も同じ距離なので、異動するということを家族で話し合い判断されたという経緯です。昨年3月には互いに新しい学年で頑張ろうという目的で全校でのお別れ会を開催しました。今後も改めて教育相談を充実していきたいという学校としての思いがあります。学区の異動で心配していただいてありがとうございました。市として20万都市になっていますので、子供たちの居場所として新しい学校があるのは当然であり必要であるため、ケアしていくことは当然のことですのでまた何かありましたらよろしくお願いいたします。

(久保田会長)

ありがとうございました。

(金山委員)

授業参観で算数専科などの専門の人がついているのはすばらしいことです。授業だけではなく、体育や音楽の場で大きな声を出させてあげるとことはストレスの発散と子どもたち同士のつながりでバランスをとるのにいいのではないかと強く感じました。

おじさんとおばさんと支えていくのが地区社協ですが、自分の得意な分野と相手の得意な分野を見つけて協力していく事が、社会活動というこれから必要なことだと思います。

(久保田会長)

ありがとうございました。

(岡村委員)

八木南小学校では教科担当制、チーム担当制について長崎小とお互い情報交換してやられているのですか。

(八木南小山本校長)

教科担任制は前任校でも好評であり、職員にとっても教材研究もしやすいところもあり、国の方からも推奨されております。低学年だと、担任がすべてを知っているほうが安心して学校に通うことが可能だと思います。高学年になると学習内容が専門的になってきますし、教科の特性を踏まえた学習ができるといいのではないかと、また、生徒指導面でもいろいろな大人と接していくことで様々なメリットがあるのではないかと考えています。

(岡村委員)

今後も、このようなメリットのあることをやっていってほしいと思います。よろしくお願いします。

(宇佐見委員)

前回の時地震の話して災害伝言ダイヤルをやりました。実際やってみたらよくわからなかったです。勉強になりました。

(久保田会長)

引き渡しについては、各学校の校長先生に考えていただいて来年度動いてくださると思います。

(八木中辻本校長)

それについて、コミュニテイ・スクールで色々なご意見いただいて、基本的には、中学校から兄弟がいる場合は小学校へ、保育所保育園には小学校に先に行ってから保育園に行くのが一番スムーズに対応できる形であったと考えているので、来年度基本的にはこういう形で対応しますということを保護者の方に流して対応していただきます。

(久保田会長)

時間になりましたので本日の協議は終わります。

1年間3回でしたけども、お忙しいところ会議に参加していただいていろいろなご意見をありがとうございました。来年度どうなるかわかりませんが、もしご縁があって3校のために少しでも力を出すことができるようでありましたらよろしくお願いいたします。

(天野教頭)

久保田会長ありがとうございました。

それでは諸連絡ございます。今度の協議会は来年度もございます。来年度の再任につきましては委員の推薦につきましては改めて各学校から依頼させていただきますのでその際にはよろしくお願いいたします。

来年度の八木地区運営協議会の第1回会場は本校長崎小になります。

依頼文書につきましては送付させていただきます

以上もちまして第3回八木地区運営協議会運営協議会終了させていただきます。